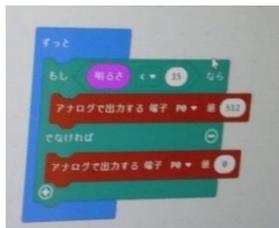
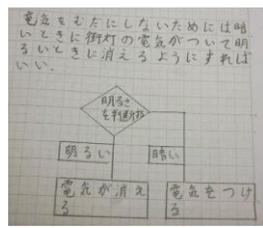


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	理科「発電と電気の利用」
学年	小学校第6学年
目標	マイクロビットを使ったプログラミングを体験することを通して、プログラミングによって、電気を効率的に使うことができることを確かめることができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	micro:bit
環境	児童2人に1台のタブレット端末を使用
都道府県	岐阜県
実施校	高山市立花里小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 明治時代のガス灯の画像を見ることで現在の技術の進歩や問題点をつかむ。 2 自校の外灯の様子の動画を見て問題点を挙げる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;">   </div> 3 学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; width: fit-content;"> 電気を無駄にしないためには、どうすればいいだろう。 </div> 4 課題解決の見通しを立てる。(予想) <ul style="list-style-type: none"> ・暗くなると電気が点く、明るくなると消える。 5 プログラムを作成する。(実験) <ul style="list-style-type: none"> ・回路図を見ながら組み立てる。 ・micro:bit で条件分岐のプログラムを入力する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;">    </div> 6 全体で話し合い、課題を解決する。 <ul style="list-style-type: none"> ・電気を無駄なく使いたいし、安全に生活したいので、夜になる少し前に外灯が点灯するようプログラムを考えました。 7 学習をまとめる。 8 本時の学習を振り返り、自分たちの生活につなげる。 <div style="margin-top: 5px;"> 身近なプログラムされているもの  </div>
成果と課題	・プログラミングの体験を通して、電気の効率的な利用について捉えることができた。